

平成 15 年 7 月 8 日

香川の野鳥を守る会
代表 曽根 俊二 様

高松市産業部
観光課長 穴吹 学

要望書（平成 15 年 6 月 10 日付け）に対する回答

このことについて、次のとおり回答いたします。

- 1、伐採地の事前調査の有無、調査者、方法、その結果と伐採にあたって影響がないと判断した根拠を示されたい。
（答）ご指摘の調査については、伐採前の平成 10 年度に、県が、屋島地区に生息する猛禽類の調査を日本野鳥の会香川県支部に委託して行ったものを引用している。これらの調査の有効性、判断の根拠および主体性について、国等から、問われるとは考えておりません。
- 2、ハヤブサ・ミサゴの事前調査の有無、調査者、方法、その結果と試験飛行は影響がないと判断した根拠を示されたい。
（答）野鳥の営巣時期を避けるなど、極力、生息に影響を生じないように配慮の下に、試験的飛行が行われるものであり、県からも、施設整備後、当分の間は、試験飛行に留め、パラグライダー飛行が猛禽類の生息に及ぼす影響について調査を実施すること等の条件の下、許可されている。また、影響がないと判断した根拠は、試験飛行中の影響調査を下に判断すべきと考えている。
- 3、飛行空域の事前調査の有無、調査者、方法、その結果と試験飛行は影響がないと判断した根拠を示されたい。
（答）同上
- （1）本格的に稼動した場合、誰が、どのようにして継続的に確認するのか、方針を示されたい。
（答）本格実施は、今のところ考えていない。試験飛行の結果次第である。
- （2）高松市は、国および県のレッドデータブックを尊重する意思があるのか、お答えいただきたい
（答）尊重したい。
- 4（1）他施設の利用状況は確認したのか、その結果を示されたい。

(答) 県ハンググライディング連盟からよると、五色台の3ヵ所の施設から飛行する人は、土・日曜日を中心に、1日20～30人余りの利用であり、その飛行を見に来る人も多いと聞く。その他の施設は、10名程度と聞く。

(2) 費用対効果は確認したのか、その結果を示されたい。

(答) 屋島の立地環境を生かした新たな魅力の創出する上で、効果が十分上がると考える。

5(1) 影響が発生したとき、伐採地の原状回復は可能か。また費用は誰が持つのか、示されたい。

(答) 県の許可条件として、生息に対する影響が大きいことが明らかになった場合には、離陸施設の撤去も含め、影響を低減すること、とされており、今後、試験飛行に伴う野鳥への影響調査の結果を見ていく。

(2) 活性化対策としての責任は誰が持つのか、示されたい。

(答) 現段階では、検討していない。

(3) 全国大会の誘致を視野に入れているのか、示されたい。

(答) 現段階では、検討していない、と考える。